



# 「使いやすい」情報システムは どのように作るのか

創造工学部

創造工学科

情報コース

教授

山田 哲

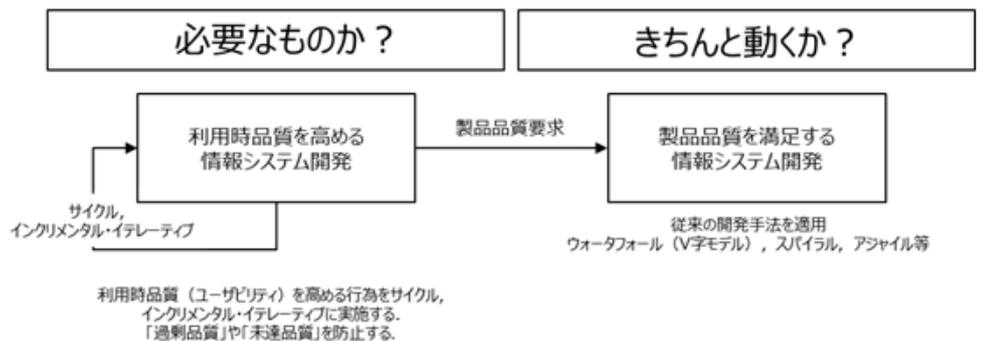
## 研究シーズの概要

みなさんは普段、会計システムや、人事システム、発注システムなど多くの情報システムを駆使して仕事をしているのではないのでしょうか？「使いにくい」などの不満はありませんか？情報システムは品質（Quality）という物差しで良さ・悪さを測ることができます。例えば「製品品質」という物差しで測ることで情報システムが「正しく動く、止まらないで動く、安全に動く」など、使う人が困らないための条件を満たしているのかが分かります。時々ニュースなどで見るシステム障害による停止問題などは、この製品品質が十分でないことで起きています。そのため情報システムを製品品質で測ることはとても重要なことです。しかし、情報システムの良し悪しは本当に製品品質だけで良いのでしょうか？

「正しく動いてくれるが、使いにくい」、「操作が複雑で手間がかかる」などを感じることはありませんか？実はこれらは「利用時品質」という別の物差しで測る必要があります。

利用時品質は「きちんと動く」、利用時品質は「必要なものか」を測る製品品質とは異なる物差しで

です。そのため「新たに生み出す情報システム」を考える時には両方の品質を考えることが重要です。情報システムの開発では「正しく動くが、必要ないものだった」という事が起きます。本研究室では図のような「本当に必要な情報システム」を作り出すための開発法や開発技術を研究しています。この研究は香川大学で利用されている業務システムの内製開発にも活かされ、多くの実績が生まれています。



【利用が見込まれる分野】 企業・自治体の業務DX、業務改善、情報システム内製

## 研究者プロフィール

山田 哲 / ヤマダ サトル



メールアドレス yamada.satoru@kagawa-u.ac.jp

所属学部等 創造工学部 情報コース

職位 教授

学位 博士（工学）、経営管理修士（専門職）

研究キーワード ソフトウェア工学、情報デザイン、ソフトウェアアーキテクチャ

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで

問い合わせ番号：EN-25-004

直通電話番号：087-832-1672

メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp